



第27回市政に関する 世論調査結果報告

鹿沼営業戦略課広報広聴係 ☎(63)2128

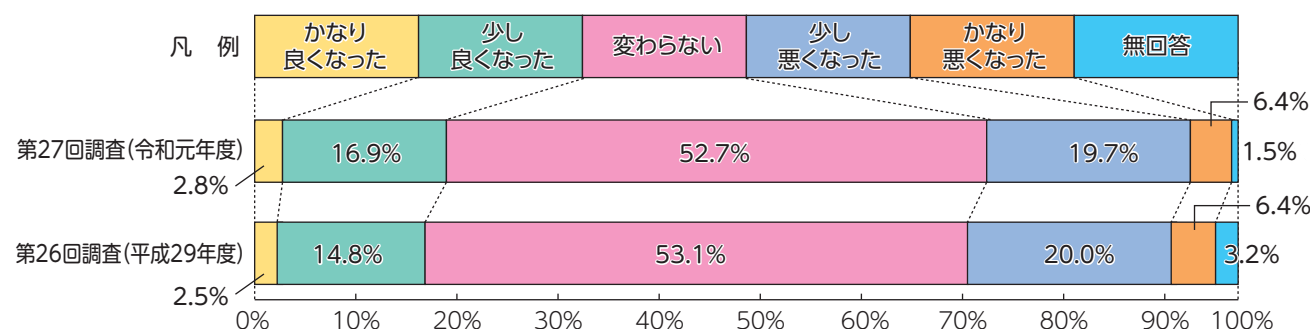
令和元年9月に実施した「市政に関する世論調査」の主な結果をお知らせします。今回の世論調査では、暮らしの変化や、市政に対する現状評価など11項目について調査しました。この結果は、今後の市政運営に生かしていきます。多くの皆さんにご協力いただき、ありがとうございました。

調査の概要

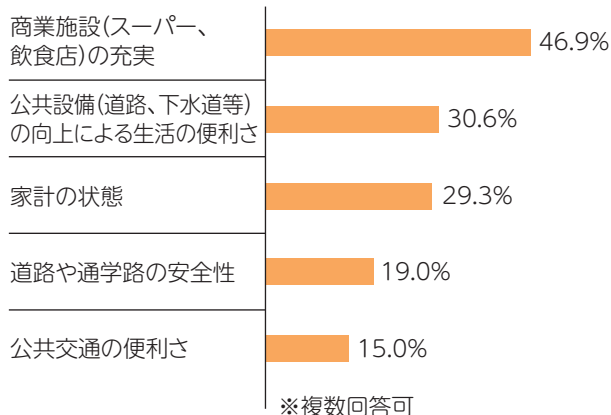
対象地域	鹿沼市全域	回答方法	郵送、インターネットでの回答
調査対象	令和元年7月1日現在、市内に居住する 満18歳以上80歳未満の男女2,000人	回収結果	回収数 746人 (男 333人、女 403人)
抽出方法	住民基本台帳から等間隔無作為抽出		無記入 10人
調査期間	令和元年9月13日～30日		回収率 36.6%
配布方法	郵送		

暮らしの変化

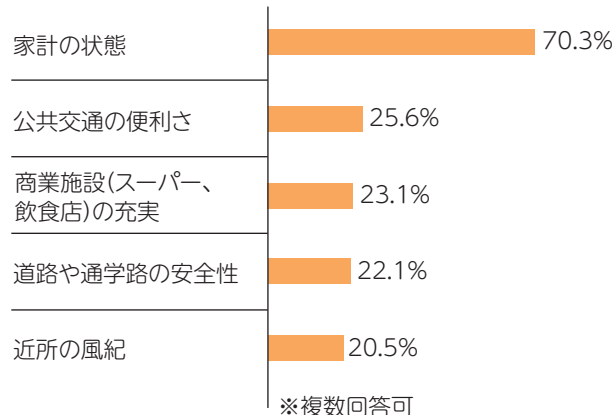
あなたの暮らし向きや生活環境は、この2、3年の間にどう変わりましたか？



●良くなったところ(上位5項目)



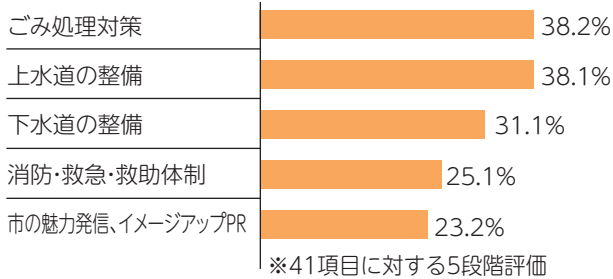
●悪くなったところ(上位5項目)



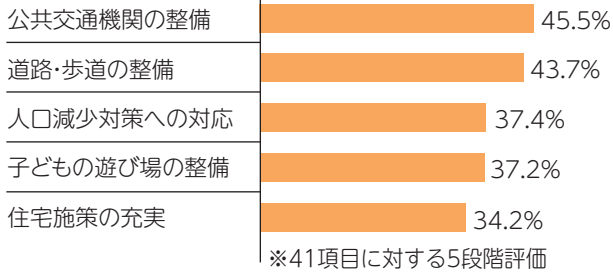
前回の調査(平成29年度)と比べると、「良くなった」が2.4ポイント増加し、「悪くなった」が0.3ポイント「変わらない」は0.4ポイントずつそれぞれ減少しました。

市政に対する現状評価

●満足・やや満足の合計(上位5項目)

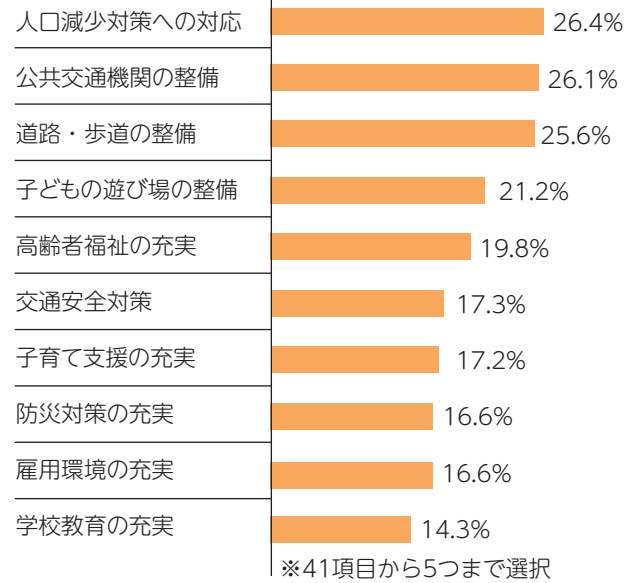


●不満・やや不満の合計(上位5項目)



今後特に重点をおくべき施策

今後のまちづくりで特に重点をおくべきことは？ (上位10項目)



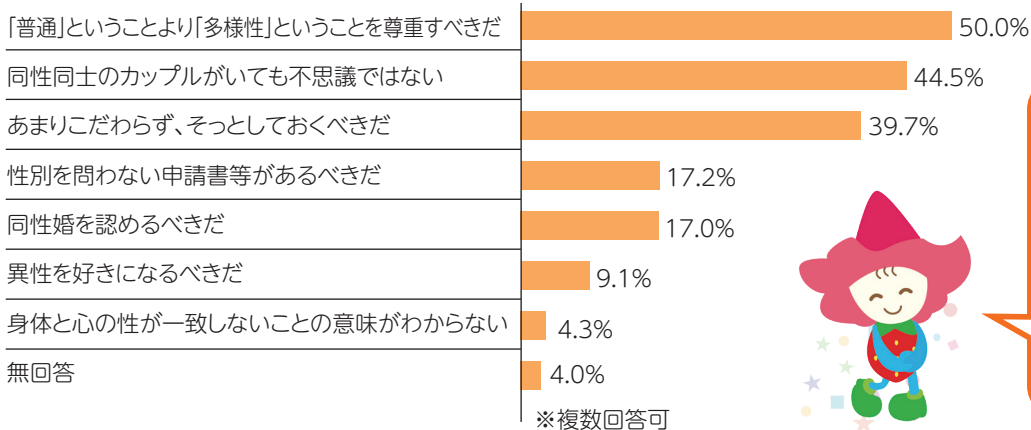
「市政に対する現状評価」で、「不満・やや不満」と回答のあった上位4項目が、「今後特に重点をおくべき施策」として同じく上位となっています。

また、「今後特に重点をおくべき施策」として最も多く選ばれた「人口減少対策への対応」については、前回の調査(平成29年度)では、18.5%(6位)だったのに対し、今回の調査では、26.4%(1位)となっており、人口減少に対する関心や意識が高まっていると思われます。

人権行政(性的マイノリティについて)

性的マイノリティについてどのように思っていますか？

●性的マイノリティ…同性愛や両性愛、自分の性別に違和感を持つ人たちのこと



本市では、昨年6月から「鹿沼市パートナーシップ宣誓制度」を開始しました。多様性が尊重されるやさしい社会の実現に向けた取り組みを推進しています。

男女いずれも「普通」ということより「多様性」ということを尊重すべきだ」と回答する人が多い結果となりました。また、同性同士のカップルについて「不思議ではない」と回答した女性は51.9%となり、男性の35.7%より16.2ポイント高い結果となりました。

そのほかの以下の項目について調査しました。

- ・市の魅力の発信
- ・公共交通
- ・水源地域の活性化
- ・ごみの排出抑制
- ・「食品ロス」削減対策
- ・図書館の利用
- ・防災対策の推進
- ・広報活動

詳細な調査報告書は、市ホームページや、市政情報コーナー(市役所本館1階)でご覧ください。